

研究フォーラム① 8/7 (金) 17:00~19:00

## ワクチンはなぜ効く？ Tfh細胞の役割

池上 一平

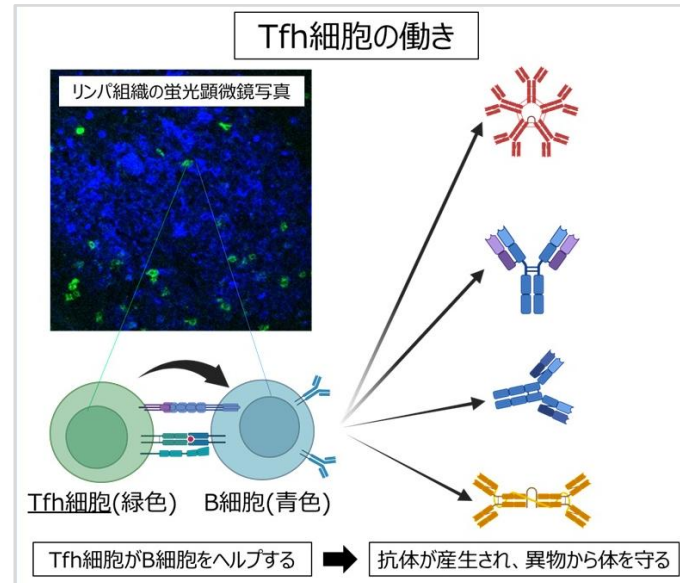
札幌医科大学医学部附属免疫学研究所免疫制御医学部門・助教



### 講演内容(伝えたいこと)

私たちには、体の中に入ってきたウイルスや細菌などの異物から身を守る「免疫」という仕組みが備わっています。免疫応答ではヘルパーT細胞が活躍し、役割により複数の種類が分かっています。このうち濾胞ヘルパーT(Tfh)細胞は、リンパ組織でB細胞に働きかけます。これによりB細胞は抗体を効率よく作ることができます。

抗体は体を異物から守る働きがあることから、Tfh細胞の研究は感染症やアレルギーなどの病気を理解するうえでも重要な研究分野として注目されています。本フォーラムでは、私がどのようなきっかけで免疫学に興味を持ち、Tfh細胞研究に携わることになったのかを紹介します。また、ワクチン接種など、私たちの日常生活の中で出会う「免疫の働き」について、Tfh細胞を研究する立場からわかりやすくお話しします。このフォーラムを通じて、皆さまの免疫学への関心や理解が深まるきっかけになれば幸いです。



### 研究テーマ

IL-9が介在する自然免疫と適応免疫の新たな連携機構に基づくアレルギー病態の研究 (2025年度)

### 概要

免疫系を制御するCD4陽性ヘルパーT細胞のうち、濾胞ヘルパーT (Tfh) 細胞は液性免疫応答を担い、免疫アレルギー疾患への関与が示唆されている。本研究では、自然リンパ球 (ILC) とTfh細胞の新たな関係性に着目して、IL-9産生ILCとIL-9受容体陽性Tfh細胞の相互作用の解明を目指している。得られた研究成果は、免疫アレルギー疾患の克服に向けた応用へと展開したい。

### PROFILE

[https://researchmap.jp/i\\_ikegami\\_smu](https://researchmap.jp/i_ikegami_smu)